

デリカフーズグループ

会社説明会



Delica Foods Group company information



1

会社概要



デリカフーズ は、業務用の **八百屋** です。

外食・中食・コンビニエンス産業に **日本全国・365日**
新鮮な野菜とカット野菜をお届けしています。

デリカフーズ は、

農と健康 を繋ぐ **創造企業** です。

日本農業の発展、国民の健康増進に貢献すべく、
青果物の新たな価値を創造する研究・提案企業です。



会社概要

商号

デリカフーズ株式会社

所在地

東京都足立区六町四丁目12番12号

創業

昭和54(1979)年10月

創立

平成15(2003)年4月(持株会社設立)

株式上場市場

東証二部 (2005年12月東証二部上場)

従業員数

グループ:203名(平均臨時雇用者数1132名)

資本金

759百万円(連結)

売上高

23.192百万円(連結)

事業内容

ホール野菜の販売・カット野菜の製造販売等

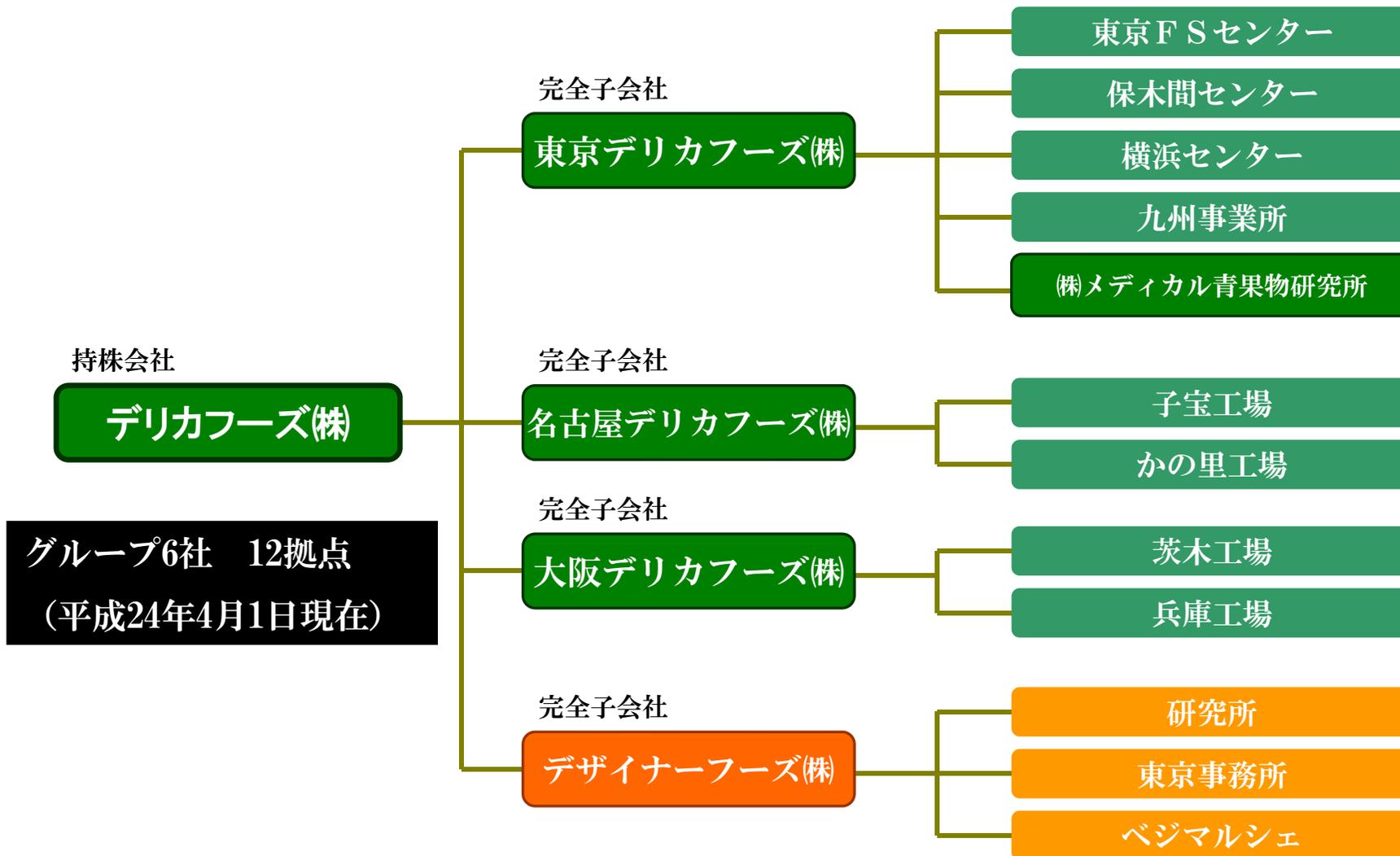
関係会社

東京デリカフーズ株式会社・名古屋デリカフーズ株式会社
大阪デリカフーズ株式会社・デザイナーフーズ株式会社
株式会社メディカル青果物研究所



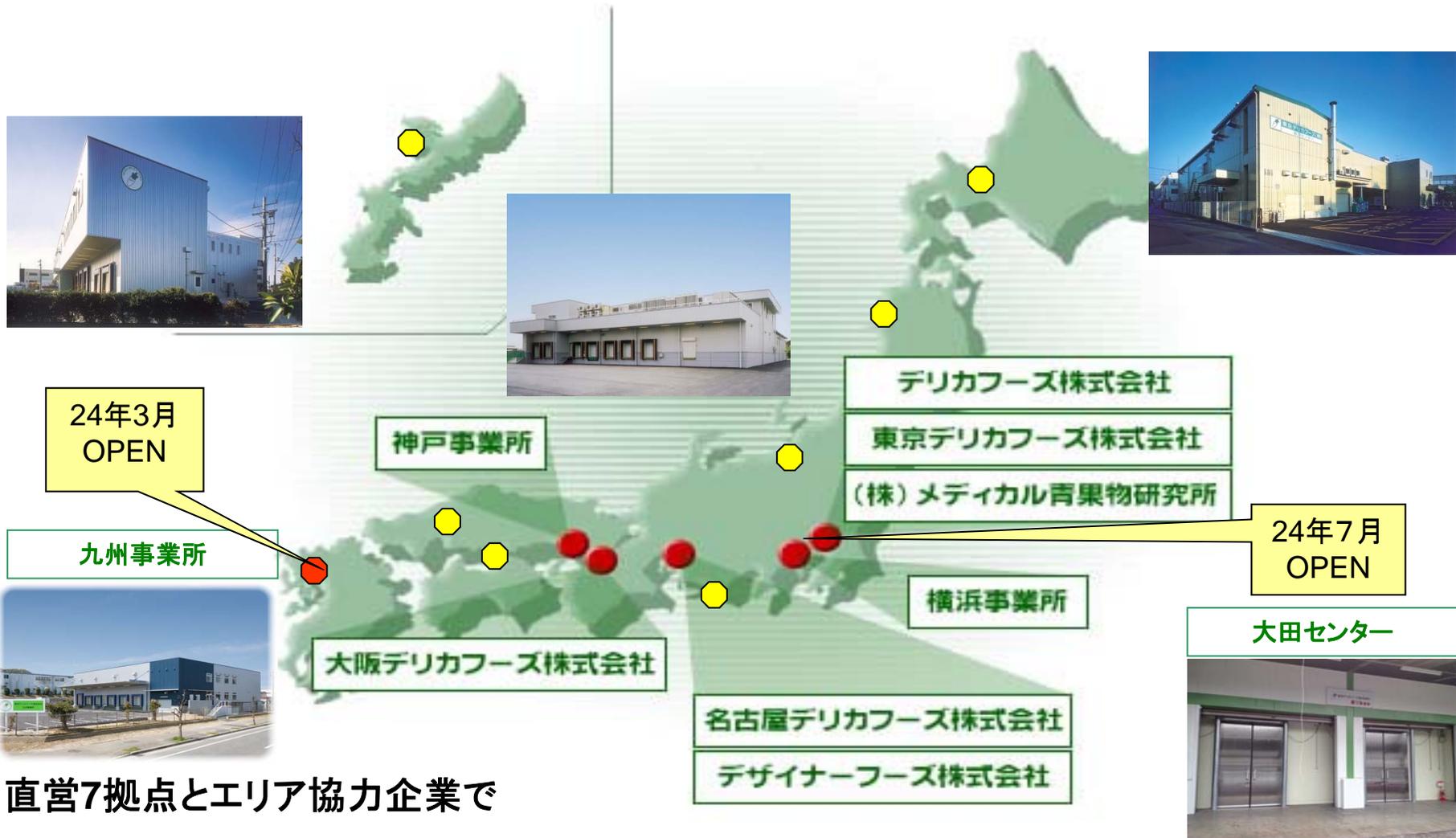


グループ組織図





デリカフーズグループエリアマップ



直営7拠点とエリア協力企業で

日本全国1万店舗へデリバリー

2

事業内容





事業モデル

デリカフーズは、野菜の仕入・加工・物流をワンストップで行っています。





業態別売上高の状況

給食

2.6%

食品メーカー問屋

5.5%

弁当惣菜

4.8%

コンビニベンダー

1.6%

中食産業

14.5%

ファスト
フード

12.1%

居酒屋

9.5%

ファミリー
レストラン

60.6%

外食産業

85.5%

ファミリーレストラン

60.6%

居酒屋

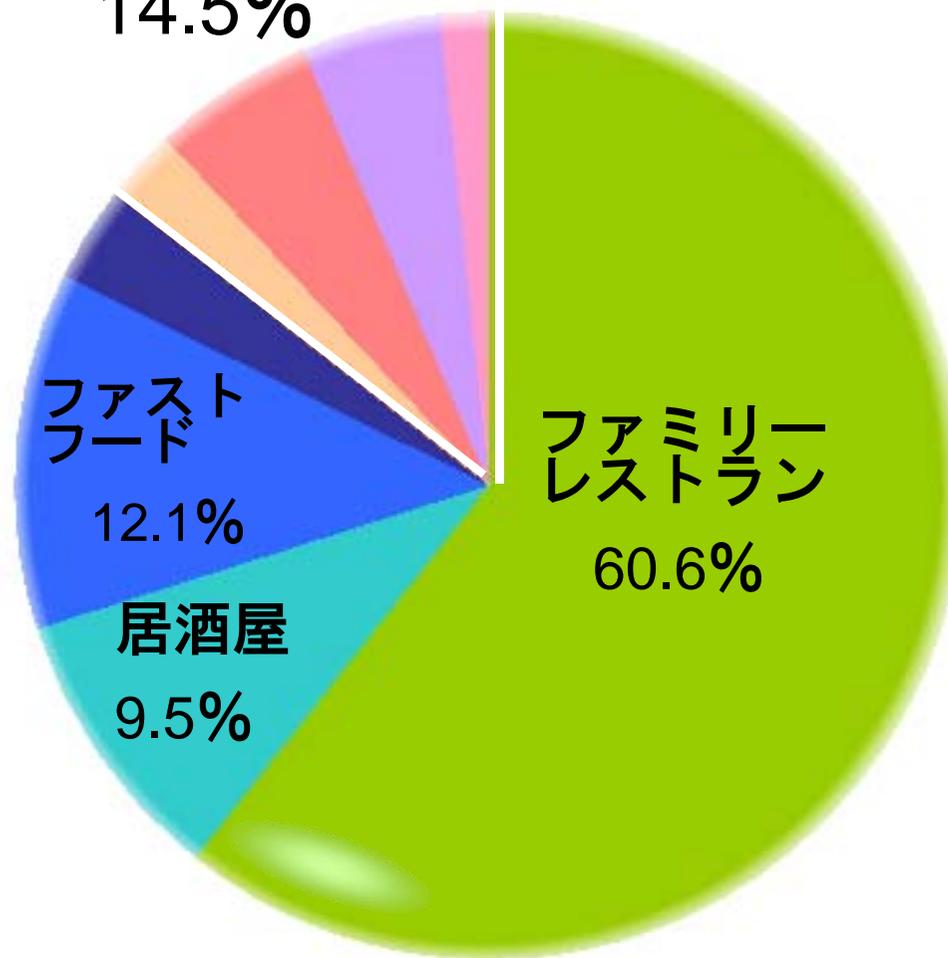
9.5%

ファストフード

12.1%

その他外食

3.3%





部門別売上高の状況



野菜以外の
食品
12.7%

カット野菜
32.1%

ホール野菜
55.2%





デリカフーズグループの強み

大都市部での強固な基盤

365日体制のチルド配送網

カット野菜製造技術・ノウハウ

全国に広がる契約産地

契約率60%を超える調達力

グループ間のバックアップ体制

青果物流通業 唯一の上場企業

青果物流通の総合商社

業界屈指の利益率

業界TOPの研究開発部門

世界に例を見ない分析データ

抗酸化分野でのパイオニア



デリカフーズグループの研究開発

野菜の成分分析（野菜ルネッサンス）

- 野菜の価値を高めるため、従来の『カタチ』ではなく、『ナカミ』の栄養価（健康度）で評価。
10年以上に渡る分析データは2万検体を超え、国内唯一のデータベースとして活用。
現在、行政・農業団体・実需者・研究機関などから高い評価と注目を浴びている。

野菜の価値向上

- 野菜の栄養成分（健康成分）を「抗酸化力」「免疫力」「解毒力」に分類し、数値化して表現
- 野菜の栄養成分を瞬時に非破壊で分析する装置の開発



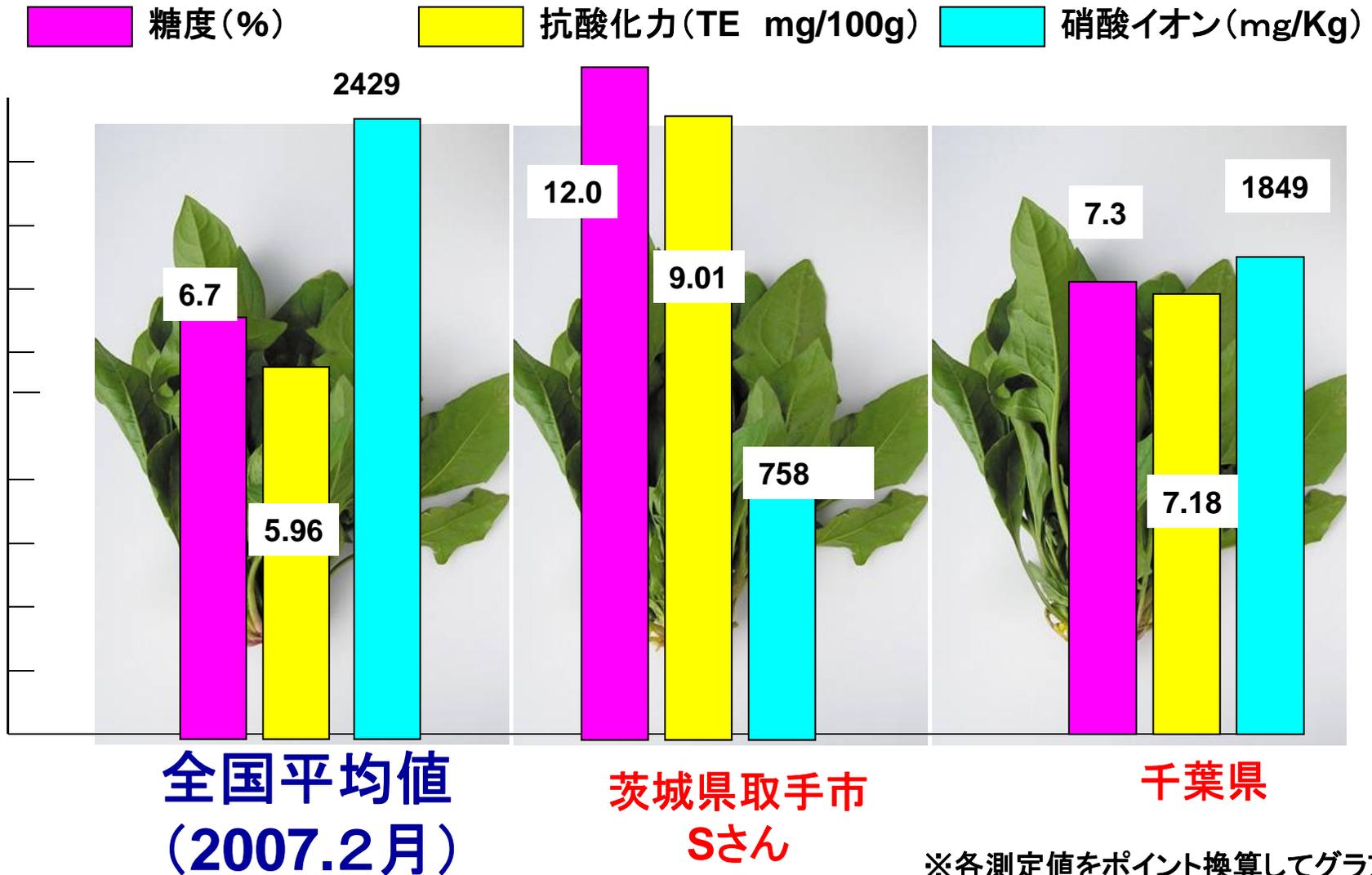
10年間で2万検体を分析



非破壊測定機の開発



ほうれん草の成分値比較

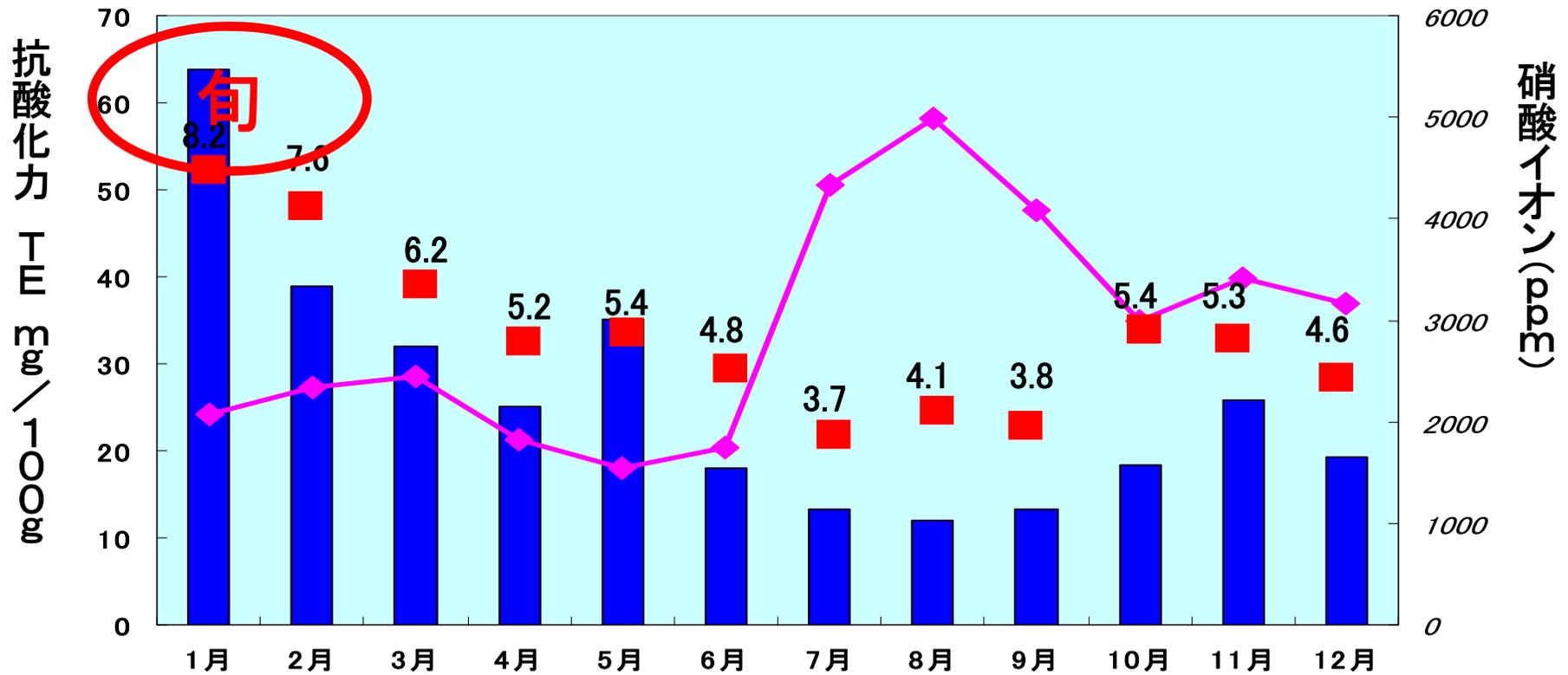


※各測定値をポイント換算してグラフ化



分析データ ほうれん草

■ 抗酸化力 ◆ 硝酸イオン ■ 糖度 (%)





デリカフーズの取り組み

機能性野菜のショールーム「ベジマルシェ」



3

上期トピックス





TOPICS① 東京デリカフーズ九州事業所竣工

グループ初の九州拠点が2012年3月27日に開業

コールドチェーン対応 デポ機能



東京デリカフーズ株式会社 九州事業所
福岡県古賀市鹿部335番地28号

九州エリアの産地開拓・育成

九州エリアにおける産地開拓・育成を行い、効果的な仕入を可能にします。

九州エリアの販路開拓

九州エリアにおける販路拡大においてもシナジー効果を発揮します。

将来の輸出入戦略の拠点

アジアに近く、将来の海外進出拠点としての役割も視野に。



TOPICS② 大田センター開設

市場内センター 市場連携



2012年7月大田市場内にセンター開設

2012年7月大田市場内にセンター開設。
新たなる事業展開や市場との連携を取り、
市場調達の強化を図ります。



(大田市場内)



TOPICS③ 災害時における対策



災害時における対策

災害時や緊急時における電力停止に備え今年9月東京FSセンター内に「発電機」と「蓄電池」を設置いたしました。



日々の節電対策

デマンドを活用し、使用電力を抑制する等の対策を実施。センター内には自動で消灯する照明も完備。また従業員それぞれが日々、節電を心がけています。



TOPICS⑤ ISO2200取得

2012年2月東京デリカフーズがISO取得。
現在横浜センター取得へと展開。



より高度な衛生環境を望む顧客
(医療・介護給食や宅配食等)の
ニーズにも対応が可能に。





TOPICS⑥ 提案型営業の強化

野菜塾・セミナー



展示会



提案型営業

研究開発を活かした
提案から供給までの
トータルサポート



ベジマルシェ



Farm to Wellness 倶楽部

4

I R Investor Relations





平成25年3月期上期決算概要

平成25年3月期第2四半期決算の概要<連結損益計算書>

(百万円、%)	当第2四半期連結時期 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	構成比	前第2四半期連結時期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	構成比	前年同四半期比
売上高	12,317	100.0	11,151	100.0	10.5
売上総利益	3,058	24.8	2,703	24.2	13.1
販売費及び一般管理費	2,669	21.7	2,468	22.1	8.1
営業利益	388	3.2	234	2.1	65.5
経常利益	378	3.1	220	2.0	71.4
四半期純利益	230	1.9	126	1.1	81.9



平成25年3月期上期決算概要

平成25年3月期第2四半期決算の概要<連結貸借対照表>

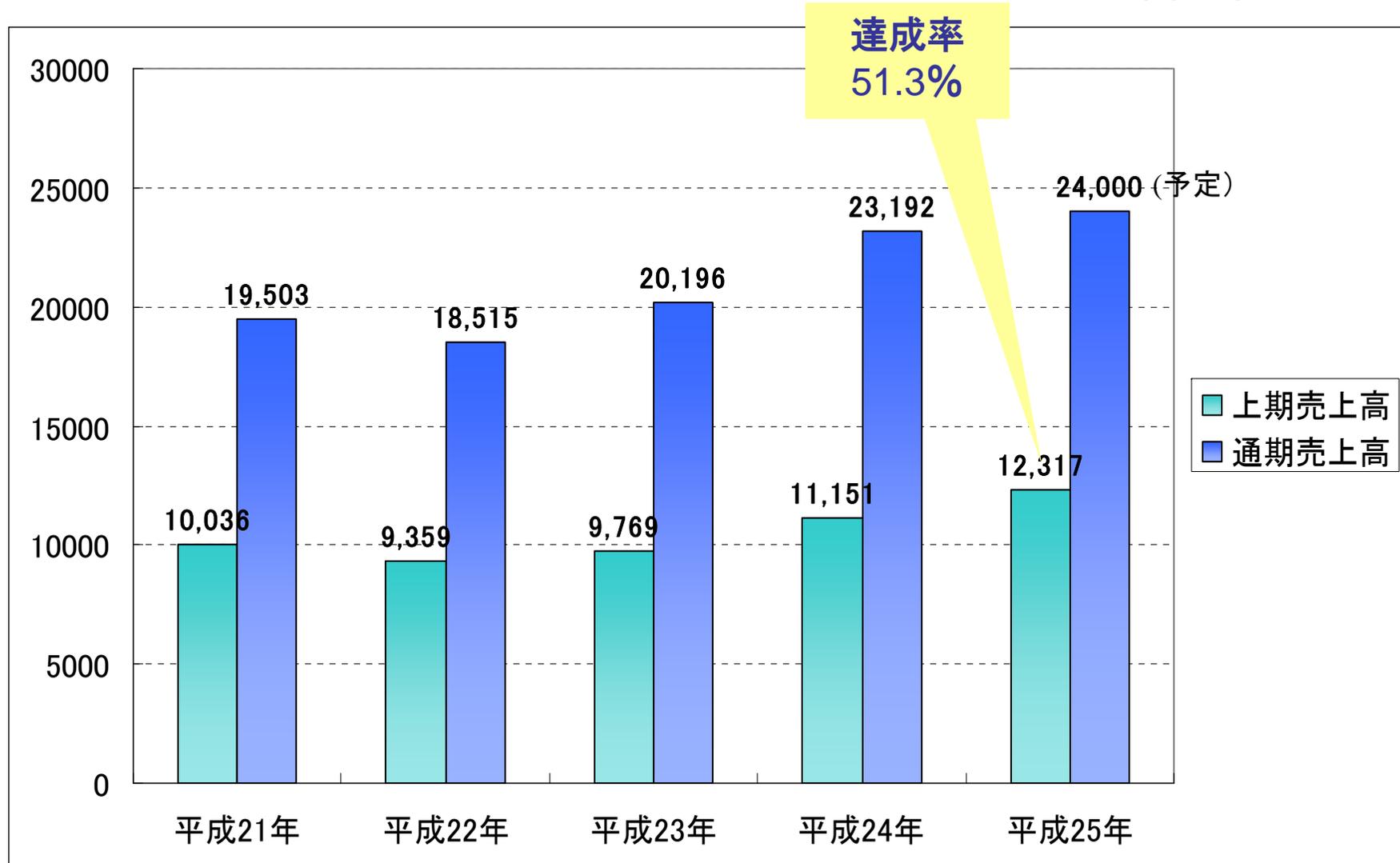
	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計 期間(平成24年9月30 日)	増減額		前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計 期間(平成24年9月30 日)	増減額
(千円)				(千円)			
現金及び預金	2,483,735	2,014,424	▲ 469,311	買掛金	1,559,667	1,441,798	▲ 117,868
受取手形及び売掛金	2,829,971	2,761,840	▲ 68,131	短期借入金	400,000	575,001	175,001
有価証券	9,580	9,890	309	1年内返済予定長期借入金	441,738	474,690	32,952
棚卸資産	107,111	88,780	▲ 18,330	未払金	781,218	713,714	▲ 67,503
その他	104,452	116,312	11,859	未払法人税等	209,742	138,675	▲ 71,067
流動資産	5,534,851	4,991,247	▲ 543,604	その他	176,729	195,230	18,500
建物及び構築物	1,610,241	1,578,704	▲ 31,536	流動負債	3,569,095	3,539,109	▲ 29,986
土地	2,477,640	3,052,827	575,187	長期借入金	2,682,754	2,530,718	▲ 152,036
その他	515,486	481,231	▲ 34,255	その他	137,844	132,946	▲ 4,897
有形固定資産	4,603,367	5,112,763	509,395	固定負債	2,820,598	2,663,664	▲ 156,933
無形固定資産	42,945	40,846	▲ 2,098	負債合計	6,389,694	6,202,774	▲ 186,919
投資有価証券	248,529	246,932	▲ 1,597	株主資本	4,232,159	4,400,006	167,847
その他	196,102	212,411	16,309	その他の包括利益累計額	3,943	335	▲ 3,607
投資その他資産	444,631	459,343	14,712	新株予約権	0	1,084	1,084
固定資産	5,090,944	5,612,953	522,009	純資産	4,236,102	4,401,426	165,324
資産合計	10,625,796	10,604,200	▲ 21,595	負債純資産合計	10,625,796	10,604,200	▲ 21,595



業績推移①

売上高 過去5年上期・通期の推移〈連結〉

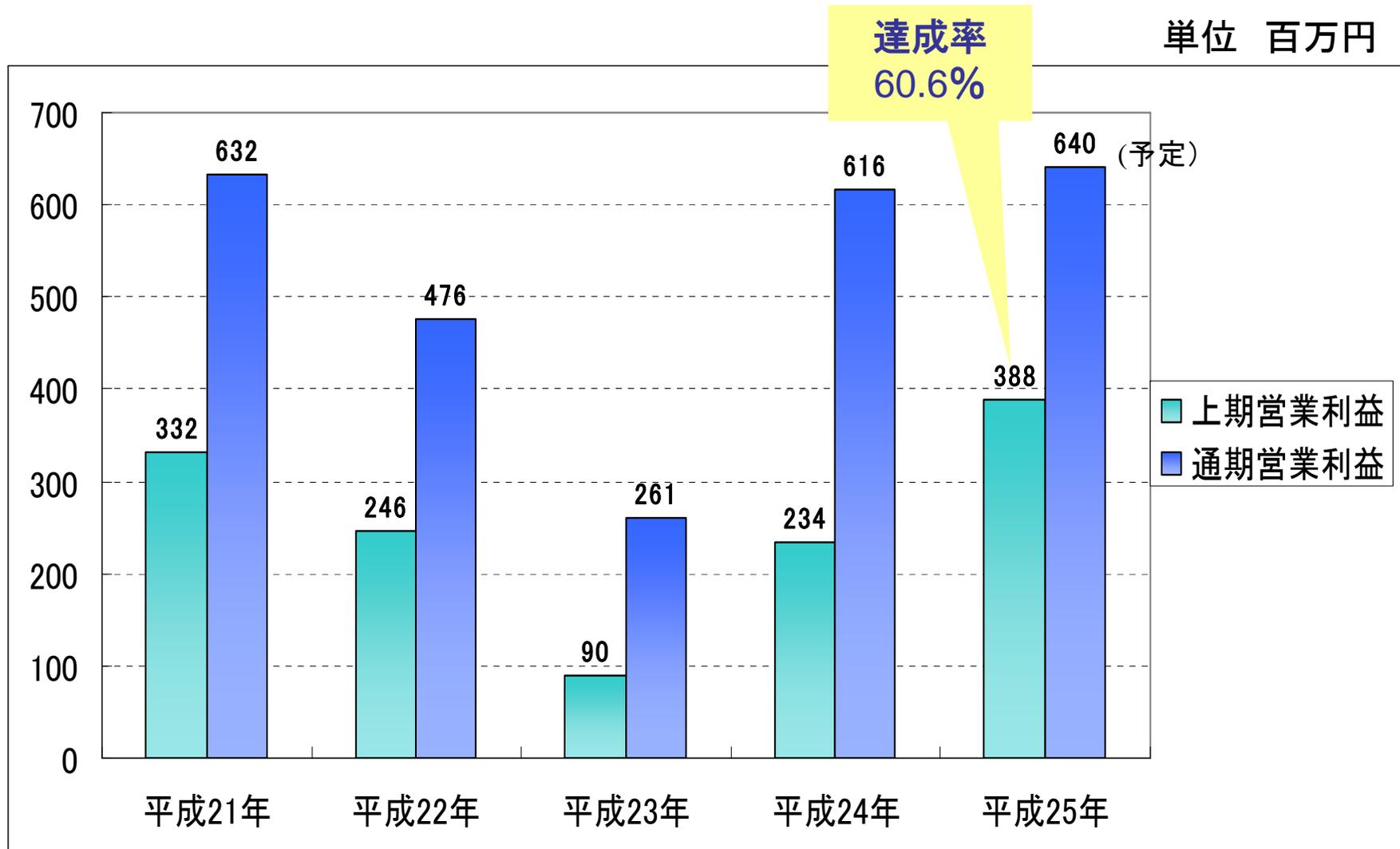
単位 百万円





業績推移②

営業利益 過去5年上期・通期の推移〈連結〉

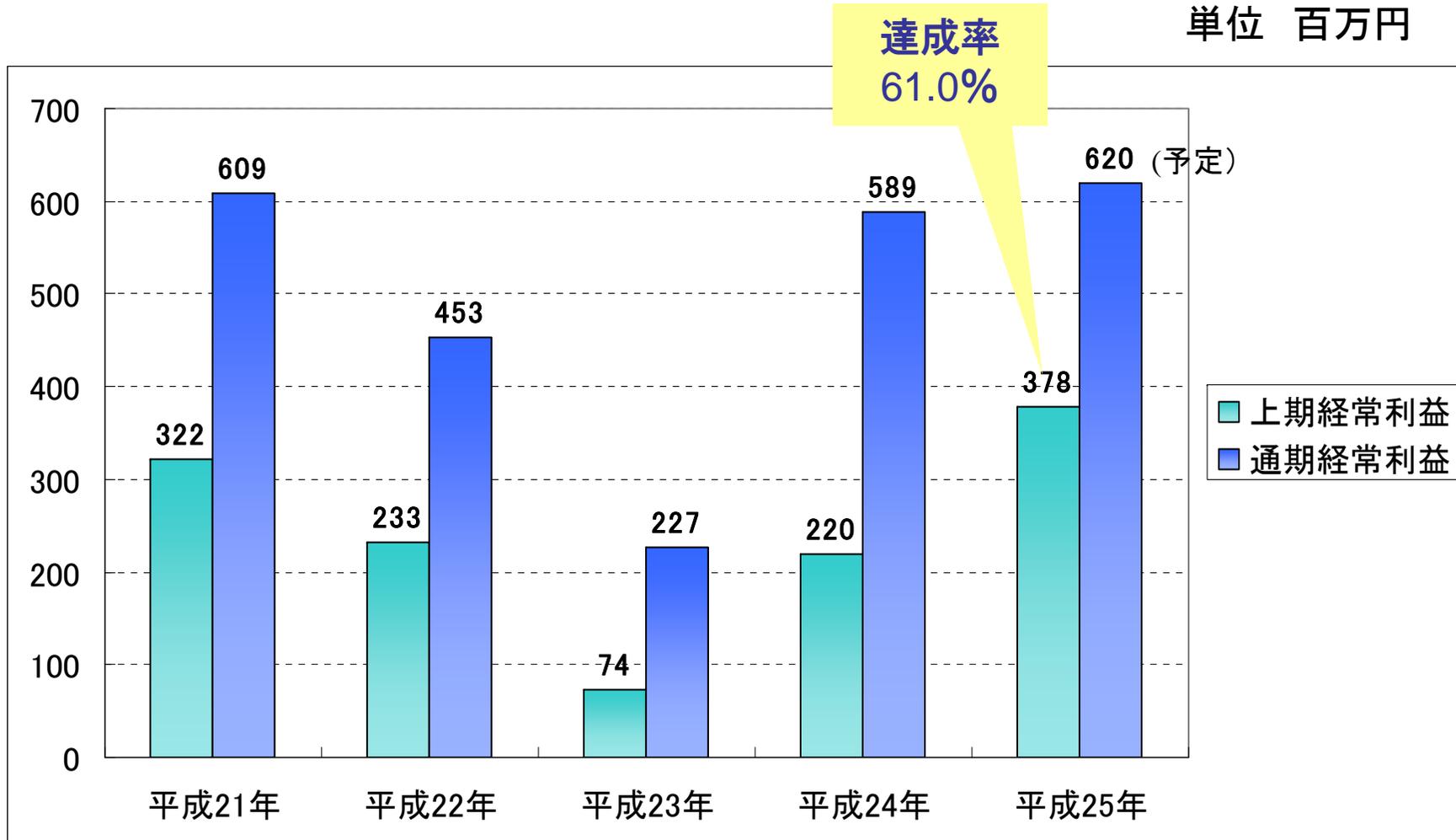




業績推移③

経常利益 過去5年上期・通期の推移〈連結〉

単位 百万円

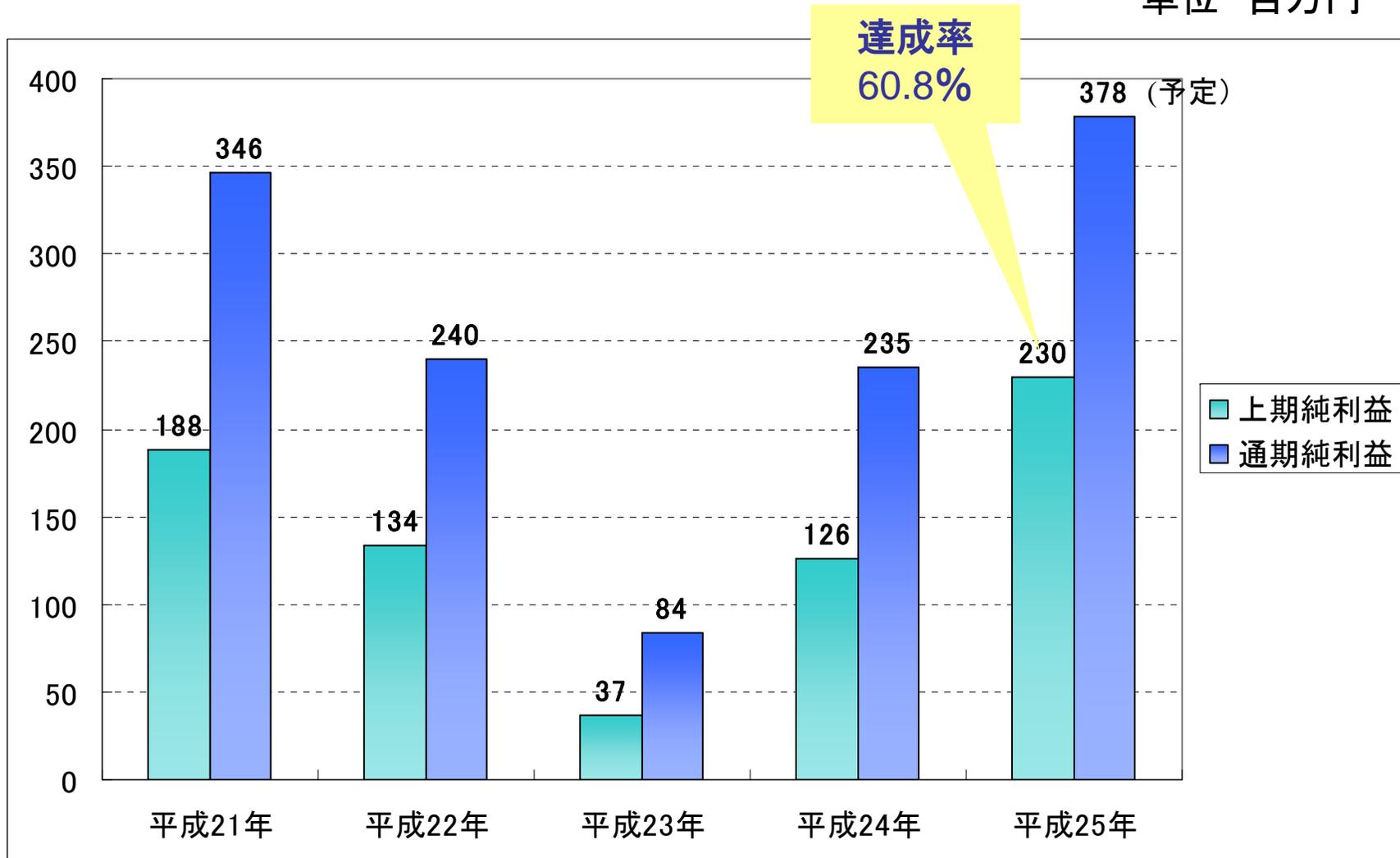




業績推移④

当期純利益 過去5年上期・通期の推移<連結>

単位 百万円





IR活動のご報告

第1四半期

4月

5月

6月

第2四半期

7月

8月

9月

第9期 決算説明会

平成24年5月

野村証券本館(東京・日本橋)

アナリスト向決算説明会

IRフォーラム2012

平成24年8月

TEPIA(東京・南青山)

個人投資家向IRイベント



日経IRフェア2012

平成24年8月

東京ビックサイト(東京・有明)

個人投資家向IRイベント



IR戦略

Webサイトを活用し、最新の業績や取り組みなどを積極的に皆様にお伝えしています。また、ベジマルシェ通販やベジマルシェ通信「couleurs(クルール)」、各種セミナーなどを通し、外食・中食産業の方だけではなく、消費者の皆様への情報提供や野菜をさらに知っていただけるような活動を行っていく予定です。



デリカフーズWEBサイト



株主投資家の皆様向けページ



ベジマルシェ通販サイト



ベジマルシェ通信「couleurs(クルール)」

5

今後の展開





中長期的戦略



中期経営計画の策定

Delica Foods
Group

中期経営計画

THE SECOND FOUNDING STAGE 2017

農と健康を繋ぐリーディングカンパニーへ

SF2015 : 2012. 4 ~ 2015. 3

SF2017 : 2015. 4 ~ 2017. 3

当社は、5月14日に

中期経営計画

THE SECOND FOUNDING STAGE 2017

を発表いたしました。



中期経営計画の概要

FIRST PHASE SF2015

連結売上高 : 270億円
連結経常利益 : 7.5億円

事業構造の強化

成長基盤の構築

海外での事業展開準備

SECOND PHASE SF2017

連結売上高 : 350億円
連結経常利益 : 10.5億円

国内エリアの拡大

海外での事業展開

新規事業・新規マーケットへの参入



今後の展開



新工場建設に関する取得資産の内容

2013年 7月 新工場竣工予定

2013年7月東京デリカフーズ第2FSセンター竣工予定
新工場では、これまで培ってきた技術やノウハウを活かし、
更なる生産効率向上を図って参ります。



資産の内容及び所在地	取得価額	スケジュール
(土地) 東京都足立区六町地内 (現在の東京FSセンターの隣地) 面積2.704㎡	約600百万円	平成24年9月取得済み
(建物) 名称: 東京デリカフーズ(株) 第2FSセンター(仮称) 建設予定地: 東京都足立区六町地内 構造・規模: 鉄骨構造・3階建て 延べ床面積: 約3.340㎡	約600百万円	着工: 平成25年2月予定 竣工: 平成25年7月予定
(その他) 機会装置一式	約300百万円	
合計	約1500百万円	



IR活動の今後の予定

日程	曜日	詳細	開催場所
11月14日	水	【第2四半期決算会社説明会】	東京FSセンター
12月12日	水	【個人投資家向け会社説明会】	野村証券池袋支店
12月14日	金	【野村IR個人投資家フェア2012】	東京国際フォーラム
12月15日	土	【野村IR個人投資家フェア2012】	東京国際フォーラム
12月19日	水	【個人投資家向け会社説明会】	野村証券さいたま支店

12月14日・15日

野村IR個人投資家フェア



主催:野村インベスター・リレーションズ課 共催:野村證券

開催日 2012年12月14日(金)10:00~18:00 12月15日(土)10:00~17:00

会場 東京国際フォーラム 地下2階展示ホール2

▼会社説明会B会場

11:25 ~ 12:05	コムチュア
12:35 ~ 13:15	テイツー
13:45 ~ 14:25	テーオーダブリュー
14:55 ~ 15:35	イチネンホールディングス
16:05 ~ 16:45	デリカフーズ
17:00 ~ 17:40	野村証券(テクニカル展望)





デリカフーズグループは
青果物流通業のリーディングカンパニーとして
日本の農業の発展と
国民の健康増進に貢献します